

公益社団法人 日本設計工学会東海支部

2021 年度 設計フォーラム

デザイン思考とプロセス設計

日 時：2021 年 11 月 5 日(金) 13:20～17:00

場 所：zoom(オンライン)

趣 旨：ユーザーへの共感と問題定義から始まる「デザイン思考」、手戻りが少ない効率的な設計をするための「プロセス設計」。本フォーラムでは、魅力的な製品とは何か、またそれを開発するための手法について、実例を交えて分かりやすく紹介いただきます。

協 賛：計測自動制御学会中部支部、自動車技術会中部支部、精密工学会東海支部、日本機械学会東海支部、日本技術士会中部本部、日本材料学会東海支部、日本図学会中部支部、日本塑性加工学会東海支部(予定)

プログラム

(1) 13:30～14:30 「デザイン思考を基盤とする医学・看護・工学・芸術連携プロジェクト」

京都市立芸術大学 教授 辰巳 明久 氏

近年、定量的価値に定性的価値を加えることを可能とするデザインに注目が集まっている。また、製品・サービスの開発手法のひとつとして、デザイン思考の浸透も見られる。本講演では、デザイン概念とデザイン思考について整理した上で、デザイン思考を基盤として行っている医学・看護・工学・芸術連携プロジェクトを紹介する。

(2) 14:40～15:40 「設計プロセスの構造化 -主従の関係-」

CADIC(株) 社長 筒井 真作 氏

企業のエンジニアを指導していると、根拠を追わずに、試行錯誤を繰り返して新製品を開発している場面に遭遇する。またエンジニアの代が変わるに連れて、彼らのレベルが低下していくと感じる。本講演では、主従という言葉を使って根拠を追うことを説明する。また根拠を明確にしたことによって変革した企業の事例を紹介する。

(3) 15:50～16:50 「体験をデザインする」

名古屋工業大学 産業戦略デザインスクール 講師 井上 雅弘 氏

良いデザインとは何か？ デザインとは新しい形やトレンドな色を考えることだけではなく、製品やサービスを通じて提供される新たなユーザー体験を生み出すことであり、良いデザインは使い手に質の高い体験を提供し、幸せにしてくれる。それではどのようにして良い体験を生み出すのか？ 本講演では体験をデザインするための手法でもあるデザイン思考について事例を交えて紹介する。

定 員：100 名

参加費：会員・協賛学会員 無料、会員外 1,000 円(ただし学生は無料)

会員資格または参加費納入を確認できた参加申込者へ zoom の参加リンクをお知らせします。

申込方法：「2021 年度 設計フォーラム参加申込」と標記し、氏名、勤務先・所属、所属学会、連絡先(E-mail、Tel)を記入した E-mail を、下記申込み先へ送信ください。

申込締切：2021 年 10 月 22 日(金)

振込先：申込確認後、有料申込者には連絡します。

問合せ・申込先：名古屋工業大学 伊藤智啓

E-mail：ito.toshihiro@nitech.ac.jp Tel：052-735-5345